

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600615
事業所名	グループホーム 寿宴

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	町内会に加入し回覧板から情報を得て、入居者と一緒に寄り合いに参加したり、敬老会との交流や市民館への作品展示、地域の花壇の花植えなどを通して、地域から仲間として受け入れられ行事や活動に参加している。国府祭り花火大会には屋上を開放し近隣に参加を呼び掛けたり、力士の慰問時に保育園児を招待し交流を図っている。中学生の職場体験やボランティアクラブ、高校生の福祉実習などの受け入れや、ボランティアによるギターやヴァイオリンなどの演奏会に地域の方の参加を呼びかけ共に楽しむ機会もある。散歩や買い物などを通して地域と日常的な交流をしている。認知症カフェ「ぬくといカフェ」の開催や地域住民から認知症相談を受けるなどして、地域との関係性を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	家族や区長、福祉会会長、老人クラブ会長、民生委員、西部包括支援センター職員の参加を得て2か月に1回開催している。事業所の運営状況や活動内容を報告したり、災害対策や食中毒などの話題を取り上げ協議をして運営に活かしている。家族には毎回案内を出したり、面会時にお知らせするなどして参加を促している。会議録を配付し会議の取組状況を提供している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	認定調査の更新時や定期的な報告、制度等の相談を通して市の担当者との協力関係を築いている。運営推進会議に包括支援センター職員が毎回出席をし、情報の提供や助言を得ている。認知症カフェ出前講座の講師派遣依頼や体操などのレクリエーションの要請を行政担当者と協議したり、東三河グループホーム作品展に作品の展示をしている。担当課とは積極的にサービスの内容を伝え、協力関係を深めるようにしている。市や事業者主催の研修に積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	入居者からは日々のケアの中で意見や意向を聞くようにしている。家族からは、訪問時や行事の折に職員が声をかけて聞くようにしている。法人で年に2回アンケートを実施し、結果内容を検討し運営に反映させている。花火大会や演奏会の折に家族会を開催し、食事をしながら交流を図っている。意見箱の設置や年12回発行する法人の新聞、寿宴のホームダよりの他に、写真を添えた担当者からの手紙を届け、家族から安心が寄せられている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	